

車載線量測定；測定機器と車両の移り変わり



自家用車に小型測定器(GPSガイガー)を取り付けて出発



KEKが開発した高性能5インチNaI測定器を搭載



高性能測定器を取付けた専用車が2台に



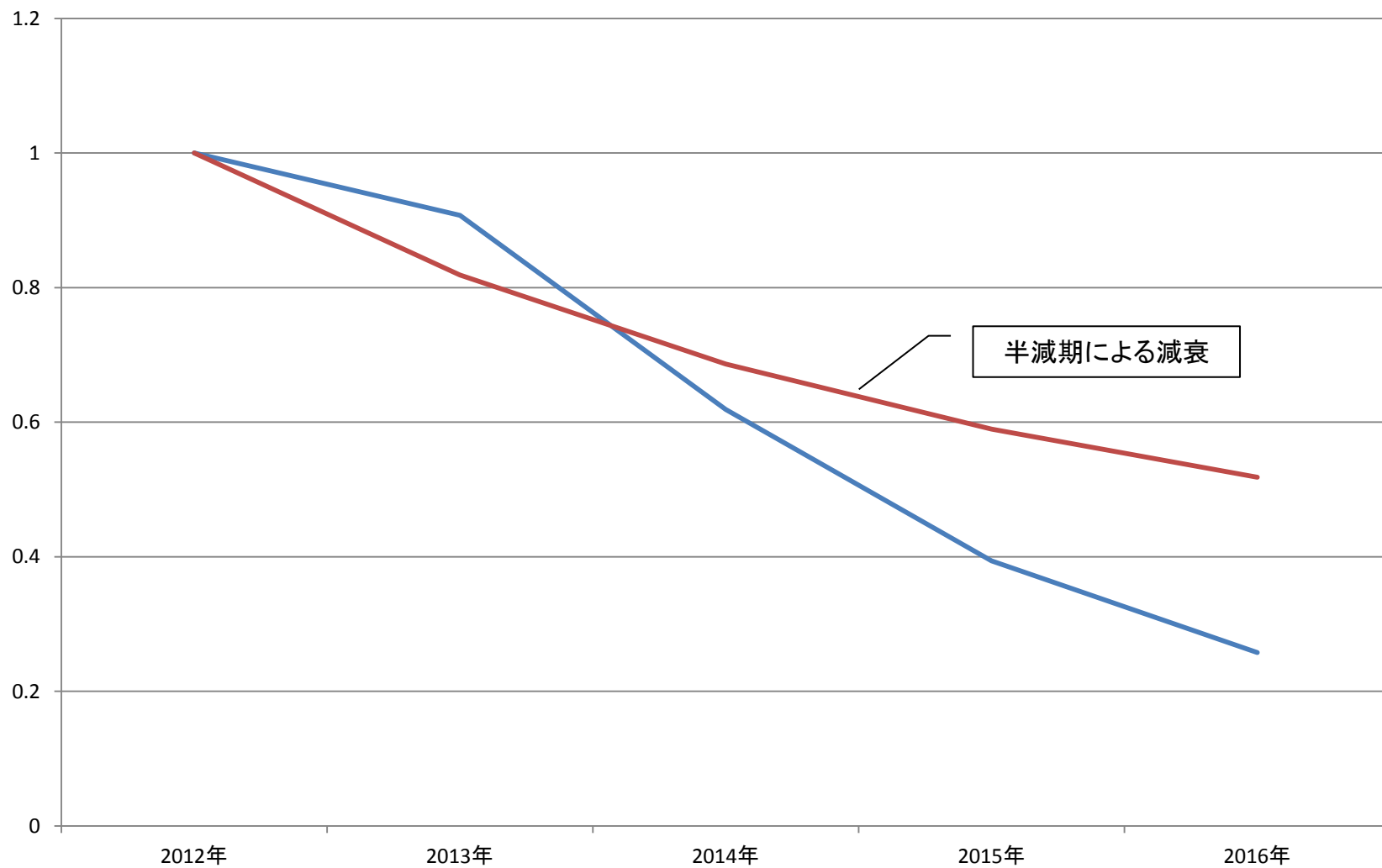
高性能5インチNaI測定器



伊丹沢の専用車庫が完成

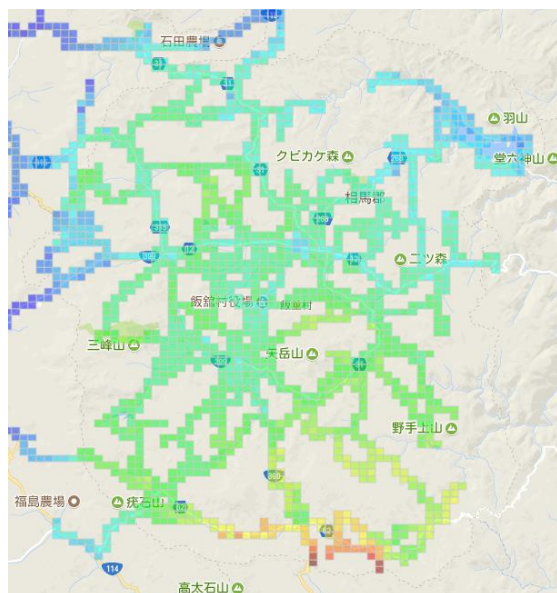
車載線量測定;5年間の空間線量の推移(1)

2012年10~12月を1とした場合

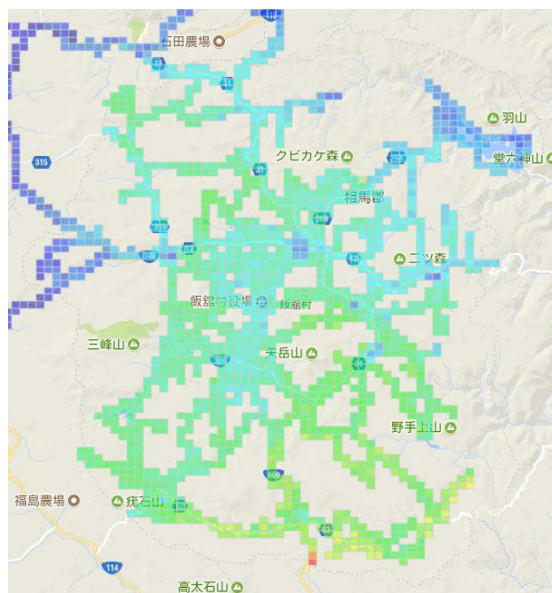


車載線量測定;5年間の空間線量の推移(2)

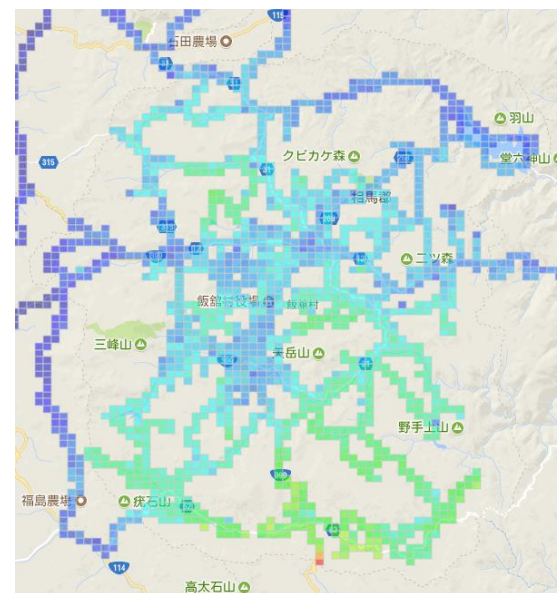
(各年10~12月の測定結果)



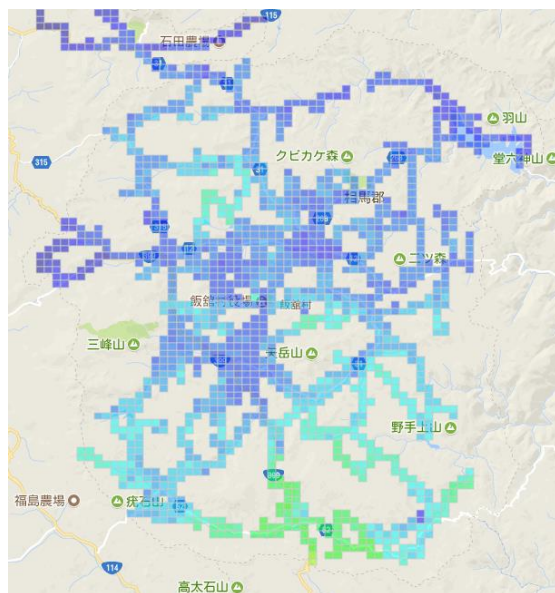
2012



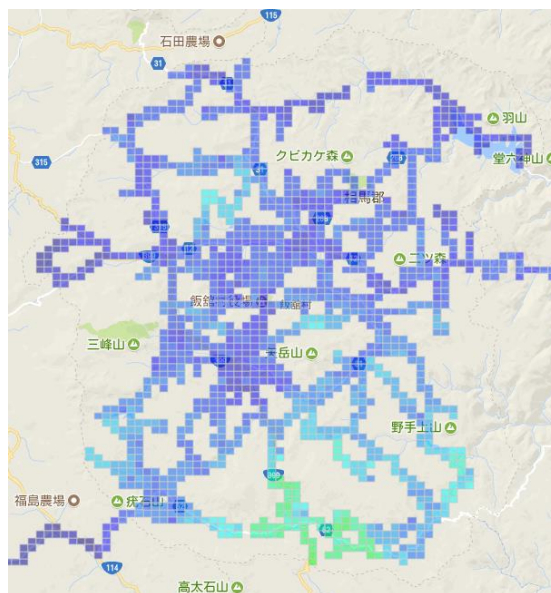
2013



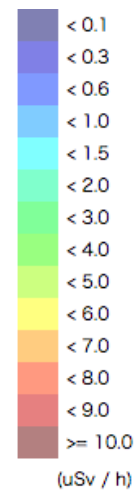
2014



2015

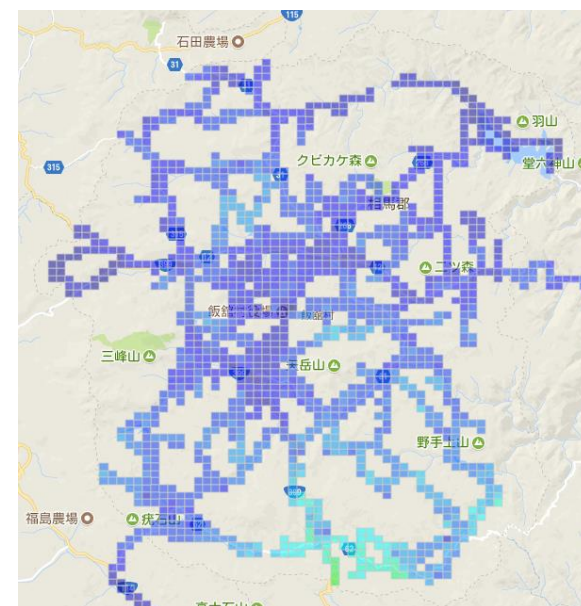
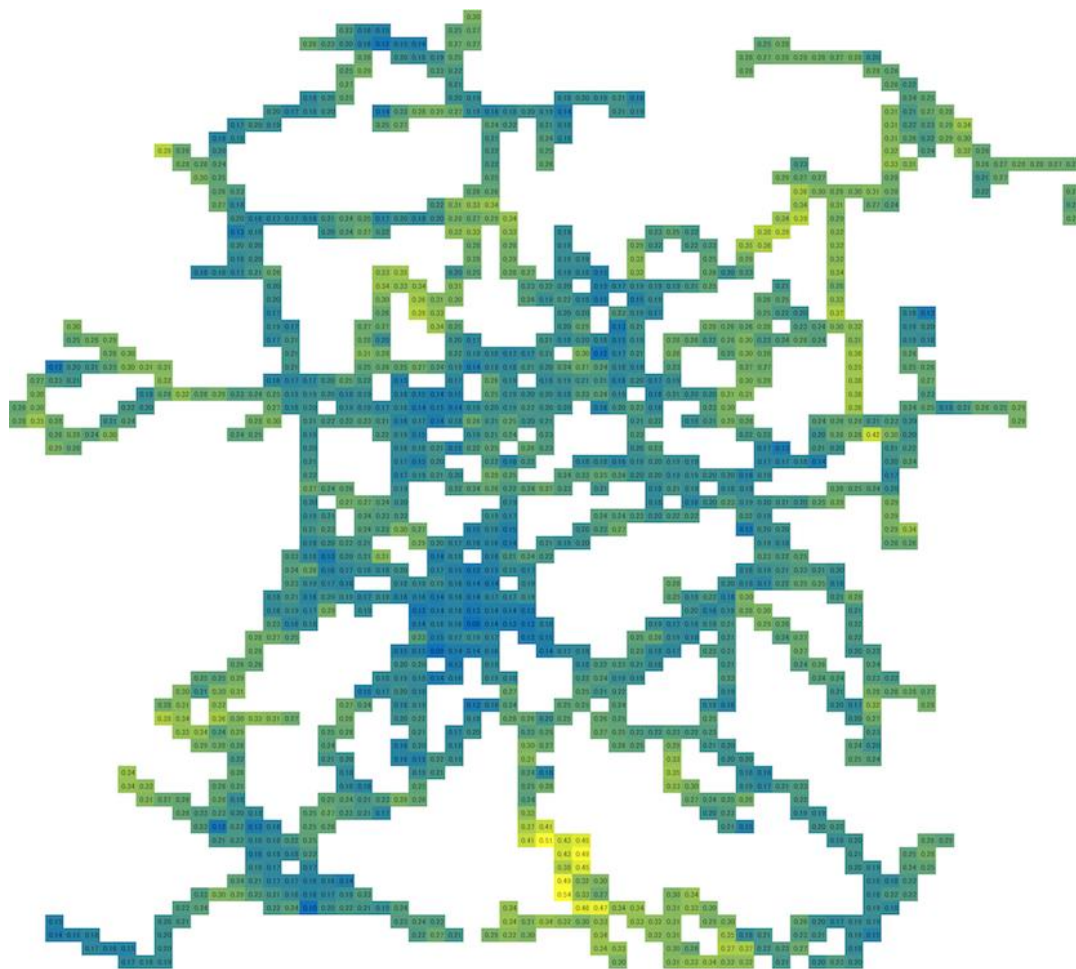


2016



車載線量測定;場所によって異なる減衰率

- この線量マップは、2012年10~12月と2016年10~12月の測定値を比較しています。その比が0.1の(つまり10分の1に下がっている)場所が青、0.5の場所を黄色、その中間が緑色というグラデーションで表現されています。
 - 草野・飯樋町の住宅商店街の場所や、農地が広がっている関根松塚などが青色か、青色に近い色になっています。それらの地域の空間線量の減衰が、除染の効果が加わって大きくなっていることが判ります。
 - 一方、村民の森のあいの澤・岩部ダム周辺・県道62号を比叡から川俣に向かう笹峠・県道315号を前田から月舘に向かう峠・県道268号草野から大倉へ抜ける峠・小宮のマキバから萱刈庭、など森林に囲まれている場所の減衰率が低いことが判ります。
- (二枚橋須萱・大倉地区が黄緑色になっているのは、もともと空間線量が低く、その減衰率に限度がある結果と考えられます。)



2017年1~3月の空間線量